

武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者等対策協議会 摘録

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和8年3月18日（水）14時20分～14時45分

場 所：川崎市総合自治会館 第3会議室

出席者：武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会 委員（別紙名簿参照）

中原区役所 沖本区長 今村副区長

中原区役所危機管理担当 倉又担当課長、神坂担当係長、川上職員

傍聴者：なし

配布資料：次第・出席者名簿・席次表

資料1 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画 改定案

資料2 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画 改定概要

資料3 意見照会結果

資料4 来年度以降の帰宅困難者対応訓練（案）について

■会議次第

1 開 会

2 議題

武蔵小杉駅周辺エリア防災計画の改定について

3 確認事項

来年度以降の帰宅困難者対応訓練（案）について

4 閉 会

■会議要旨

※摘録につき「である」調で記載、敬称等省略。

1 開会

2 議題

武蔵小杉駅周辺エリア防災計画の改定について（事務局）

事務局から、資料1・2・3に沿って、改定内容について説明した。

質疑なし。

【コメント】

秦教授：今回の改定は、3章の修正と5章の追加が行われている。3章の修正は、主体が明確になったこと、時間軸で何をすべきかが記載されてわかりやすくなっている。

5章については、帰宅困難者対策を地震だけではなく、公共交通機関が長期にわたって停止する事態になった場合は原因に関わらず帰宅困難者が発生するという認識を持つことが重要である。地震の際と違うのは、武蔵小杉駅周辺が大きな地震があったわけではないので物理的な被害がないが、滞留者が発生するというので、こういう事態は起こりうる、対応が必要であるということかと思う。前回のものと比較してわかりやすくしていただいていると思われる。

今回の内容でエリア防災計画を改定することで委員了承。

3 確認事項

来年度以降の帰宅困難者対応訓練（案）について（事務局）
事務局から、資料4に沿って来年度の訓練について説明。
質疑なし。

4 閉会

令和7年度武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者等対策協議会 出席委員名簿

構成	団体名
交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社武蔵小杉駅
	東急電鉄株式会社武蔵小杉駅
	川崎鶴見臨港バス株式会社
一時滞在施設	川崎市教育会館
	川崎市生涯学習プラザ 公益財団法人川崎市生涯学習財団
	川崎市総合自治会館 公益財団法人川崎市市民自治財団
	川崎市総合福祉センター 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
	川崎市中原市民館
	川崎市立中原図書館
	川崎市平和館
	川崎市医師会館 公益財団法人川崎市医師会
	川崎市コンベンションホール
	スーパーホテルPremier武蔵小杉駅前
商業施設	武蔵小杉東急スクエア(株式会社東急モールズデベロップメント)
	武蔵小杉東急スクエア(スクエア管理センター)
	ららテラス武蔵小杉
民間事業者	日本電気株式会社玉川事業場
	日本医科大学武蔵小杉病院
警察	神奈川県中原警察署
消防	川崎市消防局中原消防署
神奈川県	神奈川県くらし安全防災局防災部危機管理防災課
川崎市	川崎市まちづくり局拠点整備推進室
	川崎市危機管理本部危機対策担当
	川崎市中原区役所 区長
参加者合計人数	24